

# 2022年度決算 説明資料

---



このまち **思い** エネルギー。

広島ガス

1. 2022年度 決算実績
2. 広島ガスグループ中期経営計画
3. トピックス

# 1. 2022年度 決算実績

---



- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 経営成績
- (3) セグメント情報
- (4) 経常利益の変動要因
- (5) 財政状態
- (6) 2023年度 業績予想
- (7) 株主還元方針

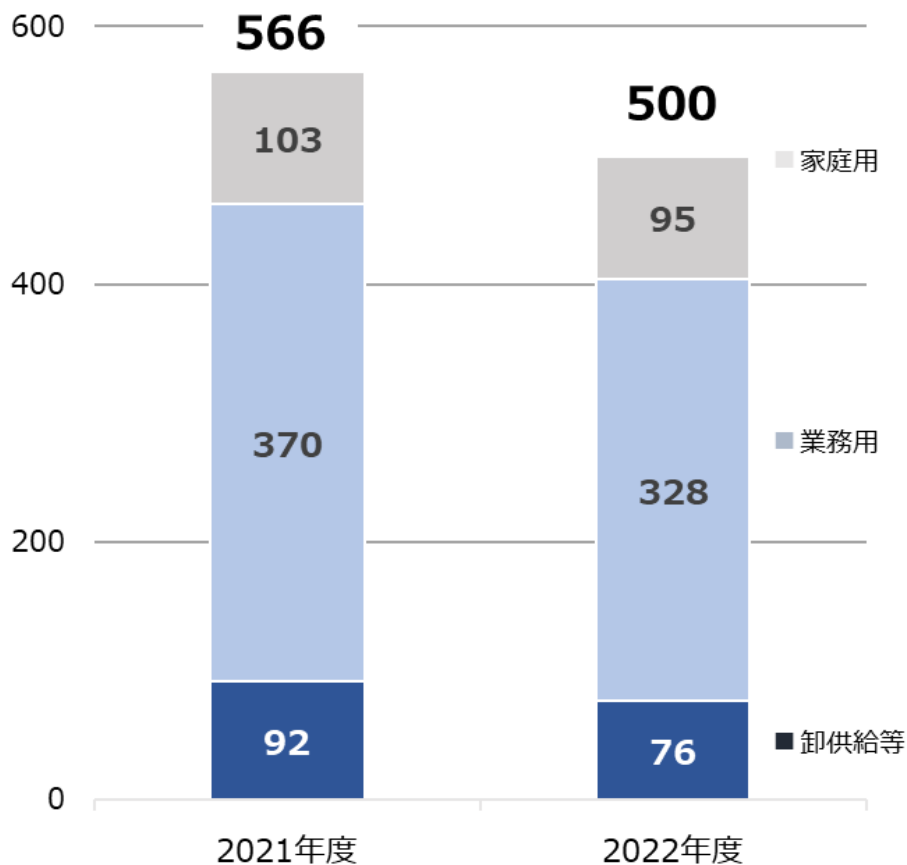
# (1) 都市ガス販売量実績



都市ガス販売量

500百万m<sup>3</sup> [前期比: ▲65百万m<sup>3</sup> (▲11.7%)]

(単位: 百万m<sup>3</sup>)



《家庭用》 ▲7百万m<sup>3</sup> (▲7.6%)

- 水温影響等

《業務用》 ▲41百万m<sup>3</sup> (▲11.3%)

- 既存大口需要家への販売量の減少等

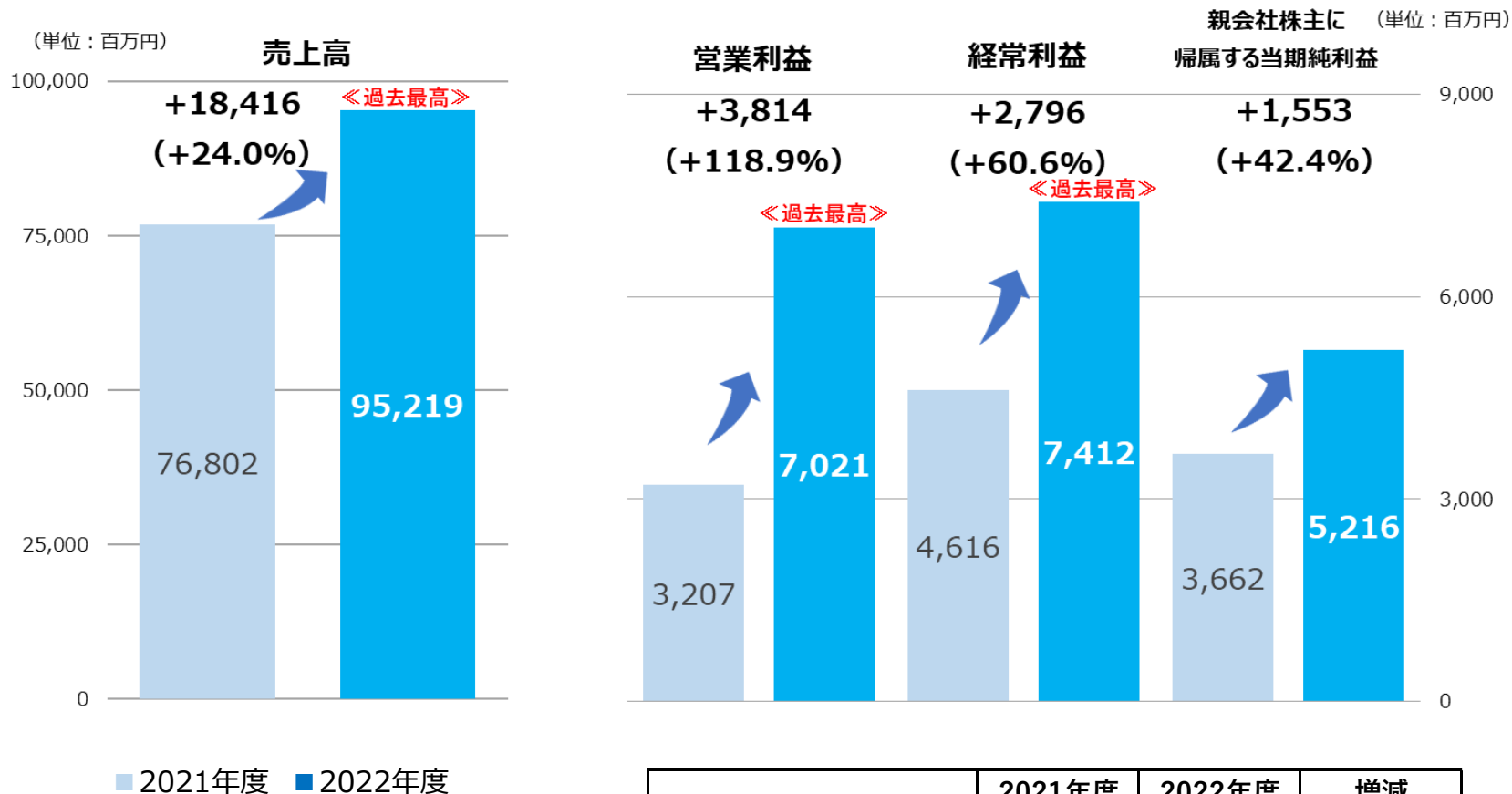
《卸供給等》 ▲16百万m<sup>3</sup> (▲17.5%)

- 卸供給先の需要家への販売量の減少等

## (2) 経営成績



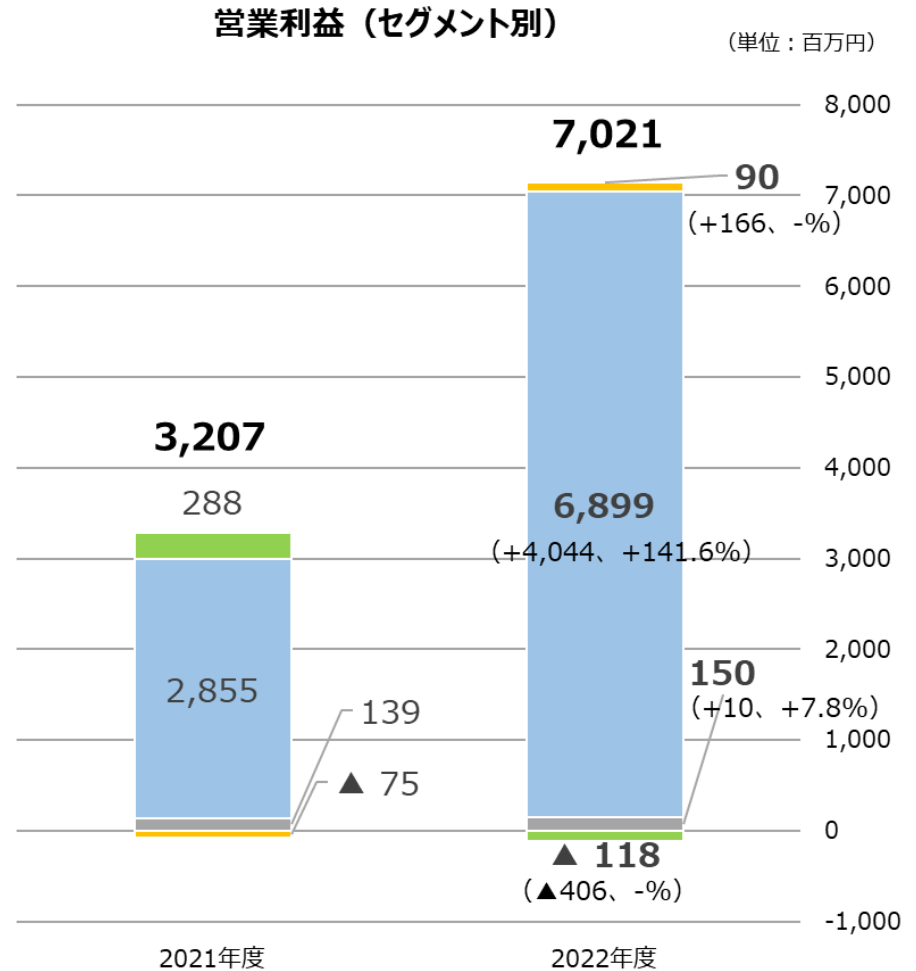
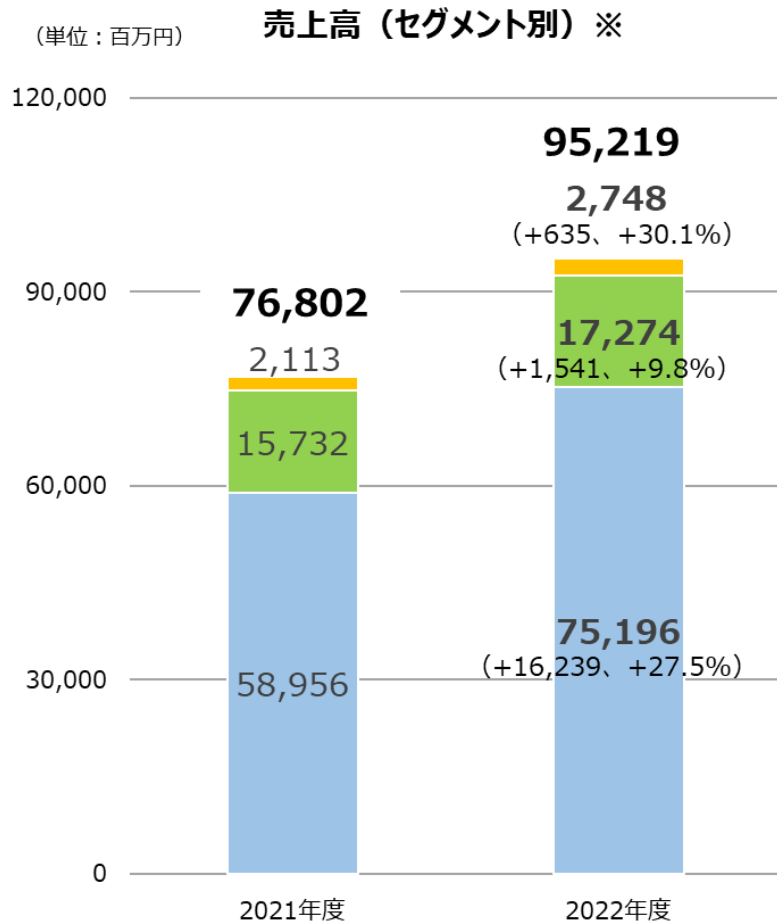
- 2期連続の増収、経常利益4期連続の増益
- 売上高、営業利益、経常利益は過去最高



	2021年度	2022年度	増減
原油価格 JCC (\$/bbl)	77	103	26
為替レート (円/\$)	112	135	23

(注) JCC(=Japan Crude Cocktail) : 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格

# (3) セグメント情報



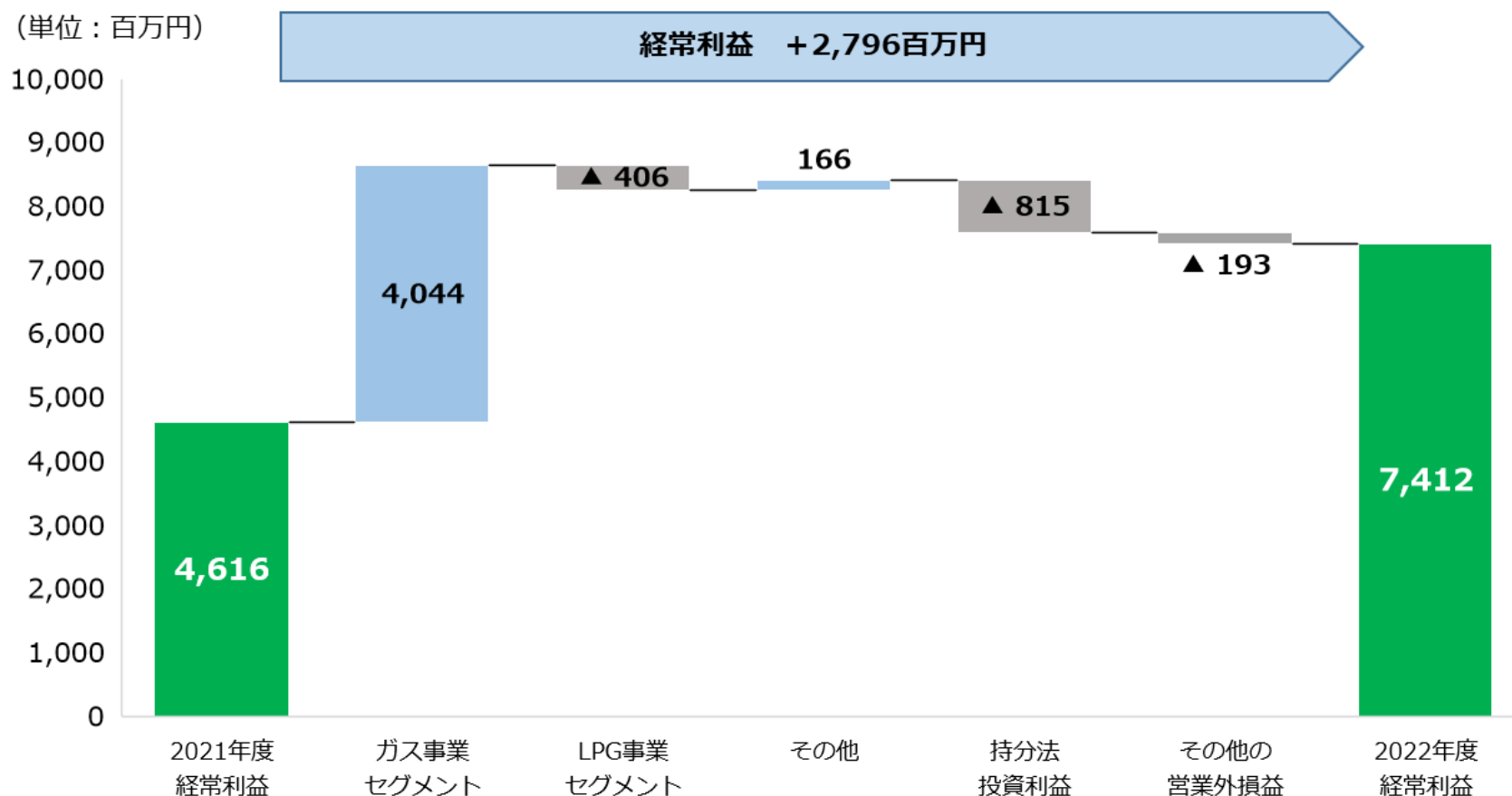
※外部顧客に対する売上高

■ ガス事業 ■ LPG事業 ■ その他 ■ 調整額 ( ) 前年比

# (4) 経常利益の変動要因



- LPG事業での減益や、持分法投資利益の減少があったものの、単価影響によるガス事業の増益等により、経常利益は前期に比較して増益

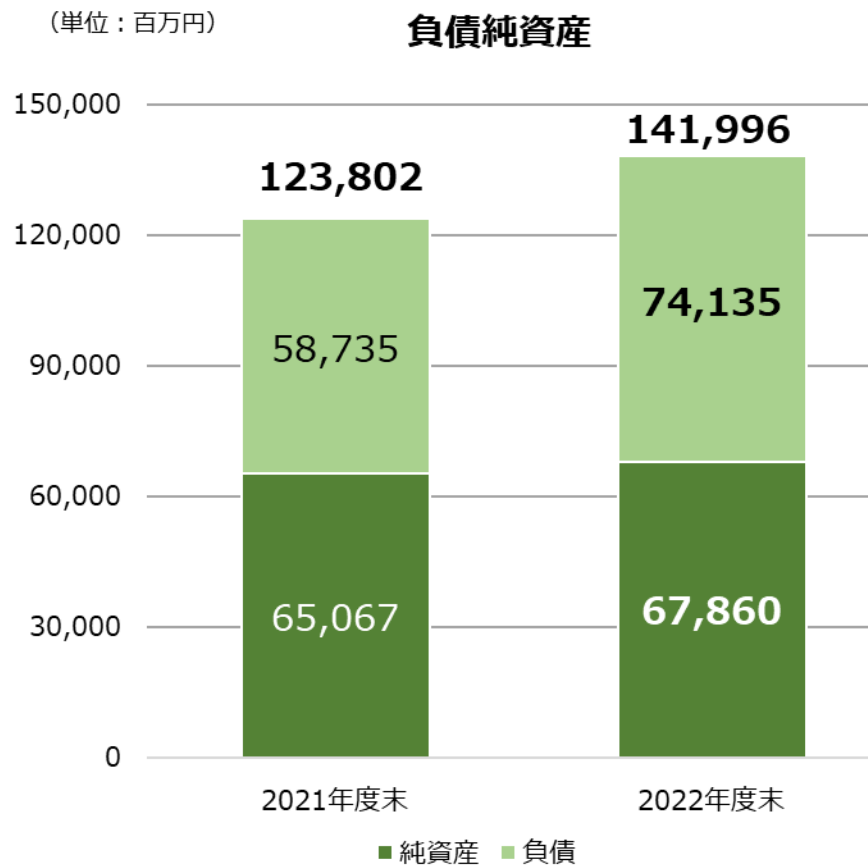
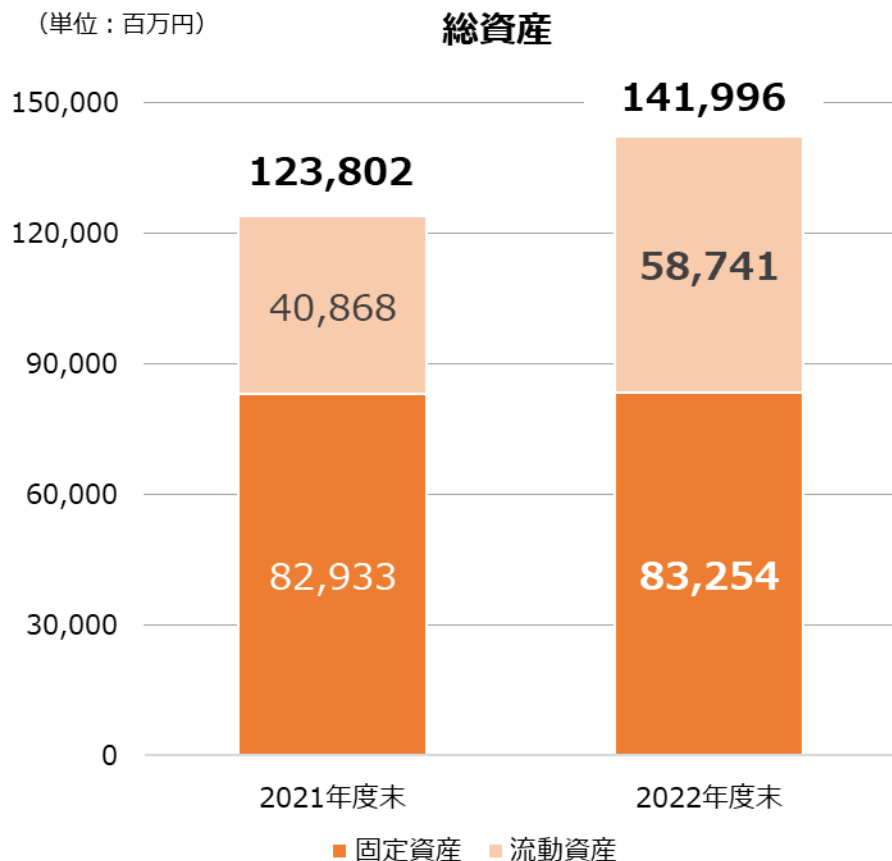


# (5) 財政状態(貸借対照表)



- 総資産: 対前期末比 +18,193百万円(+14.7%)
- 負債: 対前期末比 +15,400百万円(+26.2%)
- 純資産: 対前期末比 + 2,793百万円(+ 4.3%)

- 自己資本比率  
50.0% ⇒ 45.5%(▲4.5ポイント)

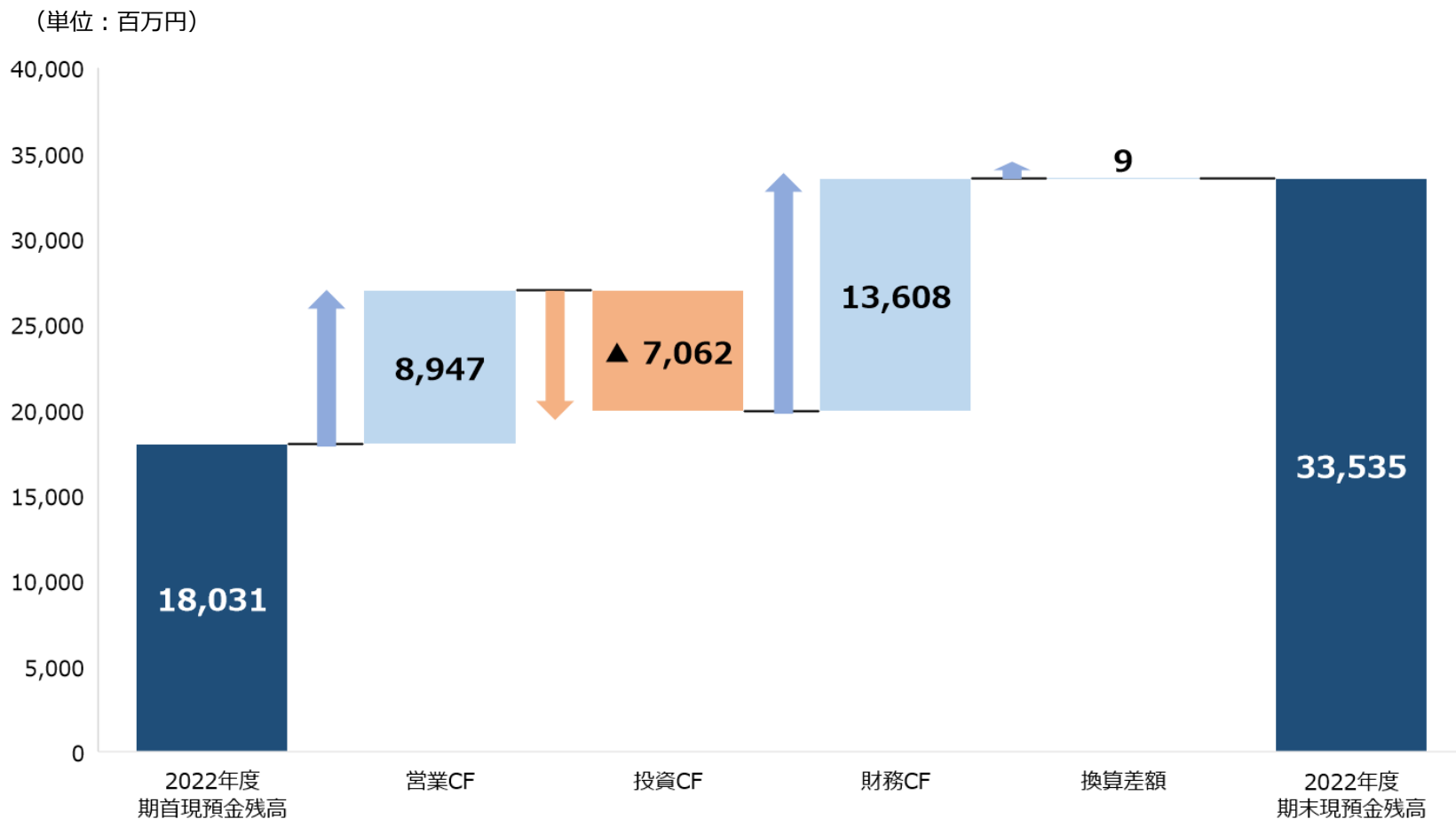




# (5) 財政状態(キャッシュ・フロー)

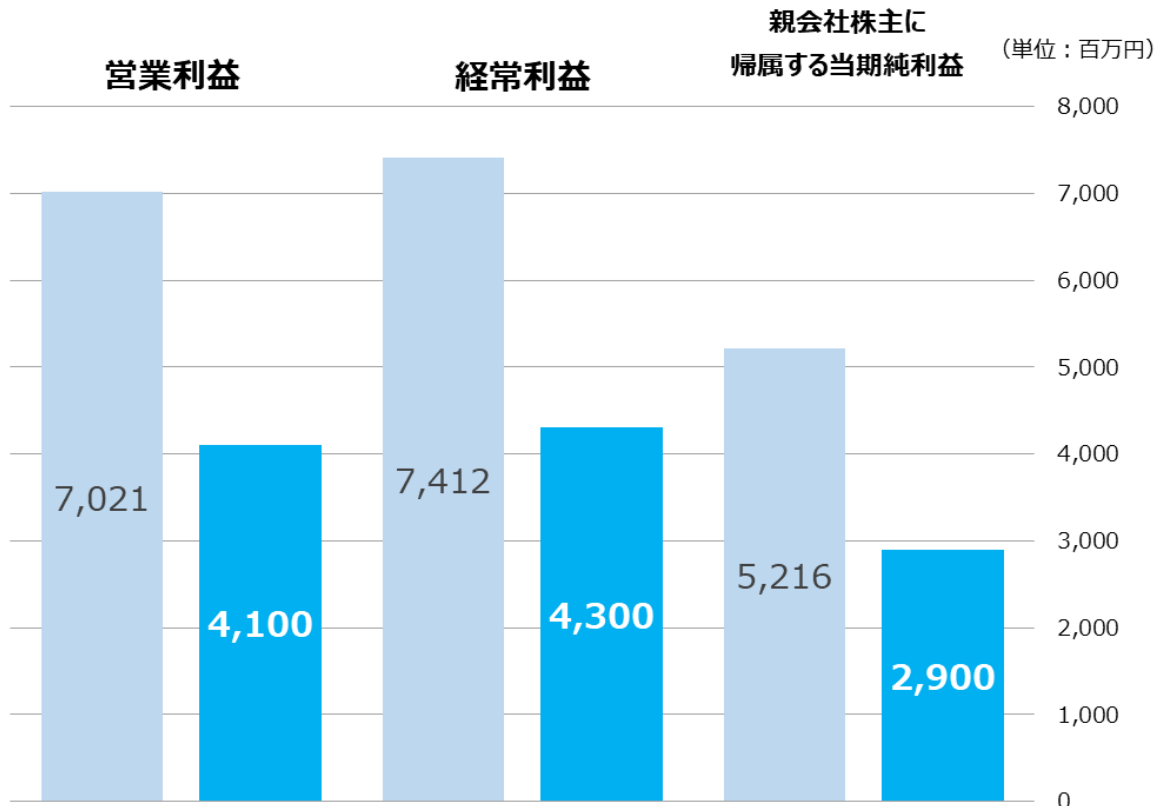
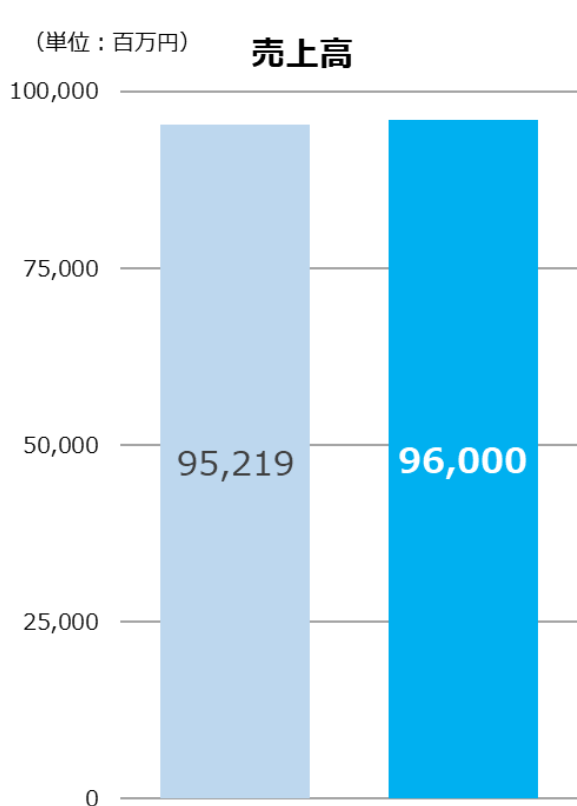


## ■ 現金及び現金同等物増減額 +15,504百万円



	2021年度	2022年度	増減
設備投資額	8,512	8,618	105
減価償却費	7,422	7,312	▲ 109

# (6) 2023年度 業績予想



■ 2022年度実績   ■ 2023年度計画

## 《前提条件》

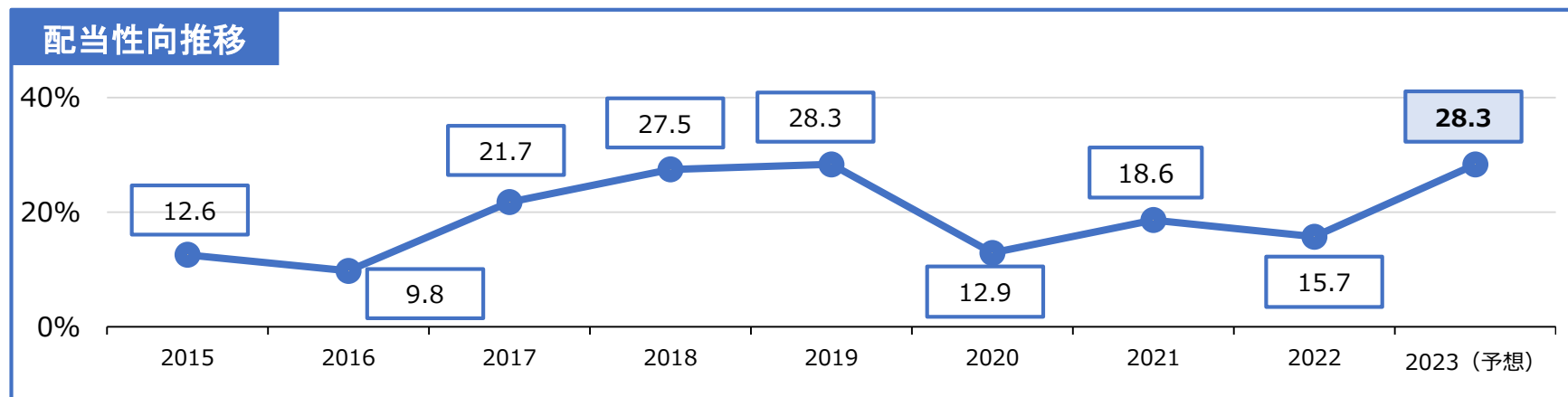
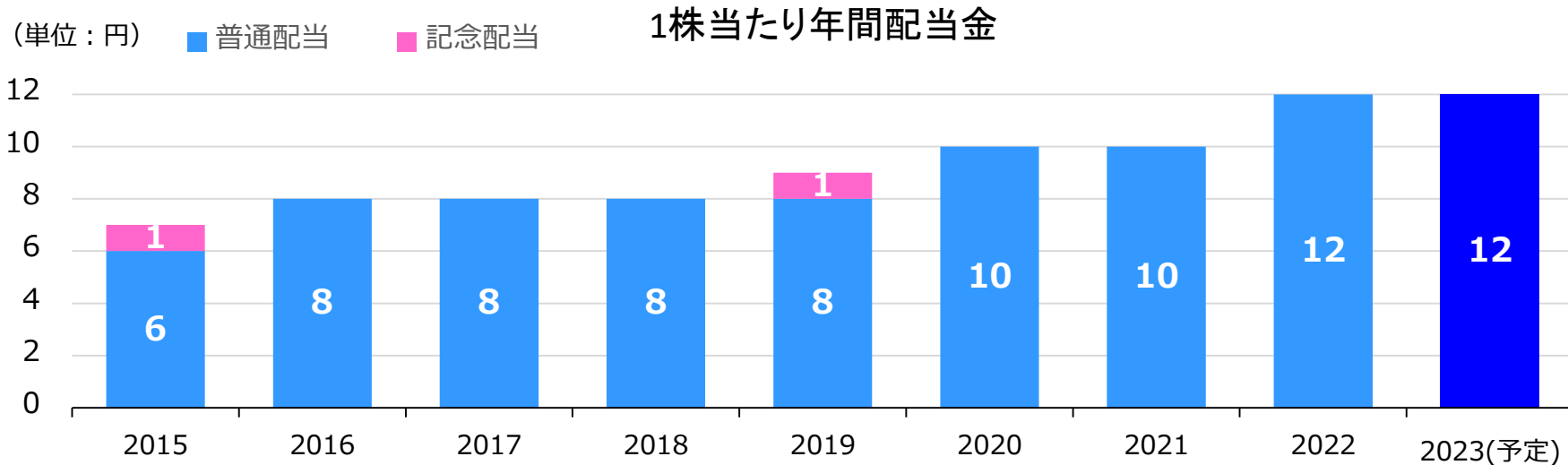
	2022年度 実績	2023年度 見通し	増減
都市ガス販売量 (百万 $\text{m}^3$ )	500	492	▲ 7
原油価格 JCC (\$/bbl)	103	90	▲ 13
為替レート (円/\$)	135	135	-

(注) JCC(=Japan Crude Cocktail) : 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着 (CIF) 価格 10

# (7) 株主還元方針



- 配当の実施にあたっては、安定的・継続的に配当を行う基本方針のもと、短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上を目指していく。
- 2022年度は2円増配、2023年度もその水準(年間12円)を維持予定



## 2. 広島ガスグループ中期経営計画

---

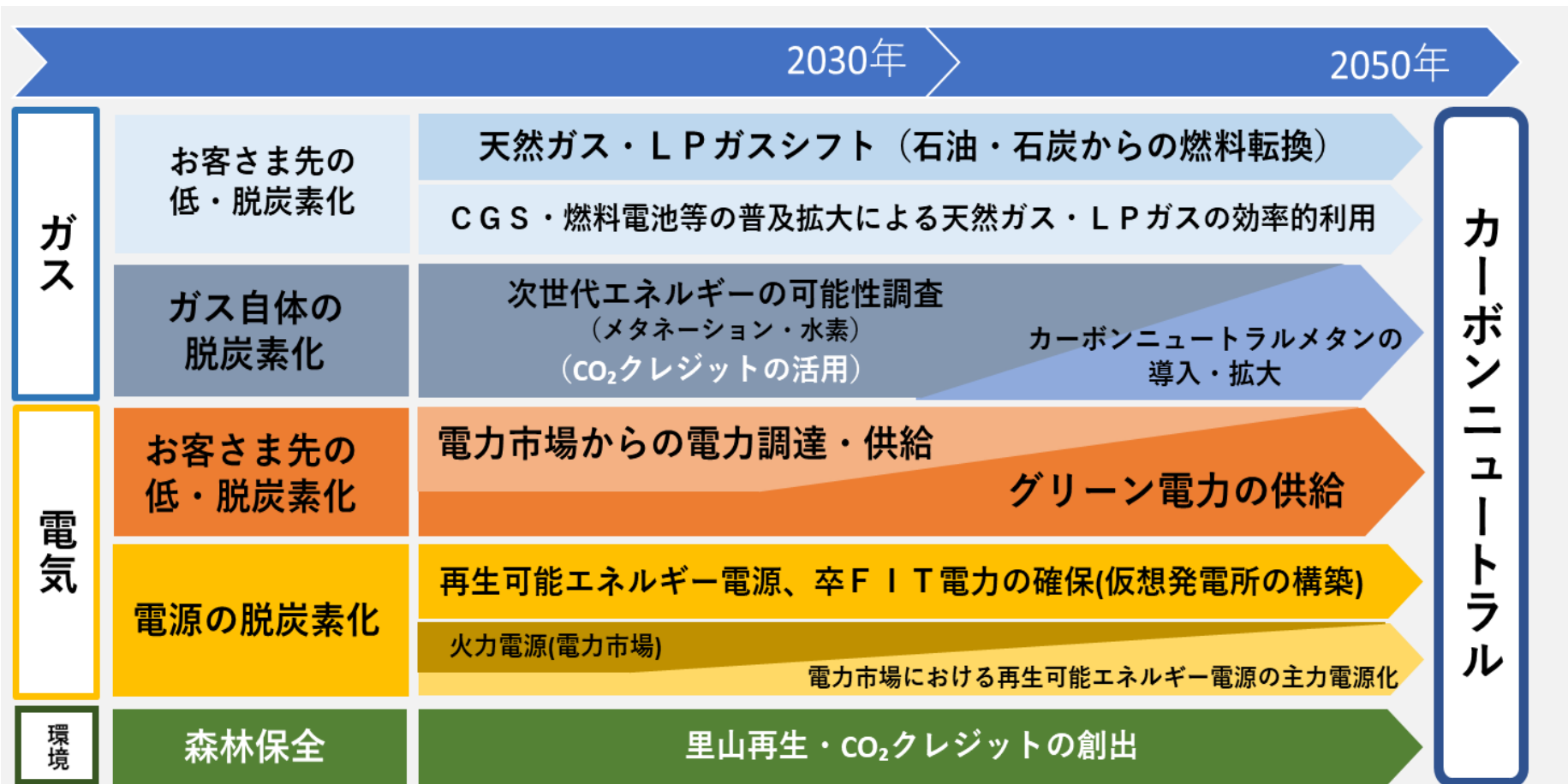


- (1) 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み
- (2) 2023年度中期経営計画のポイント
- (3) 事業ポートフォリオについて
- (4) ガス需給・設備投資計画

# (1) 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み



- トランジション期においては、天然ガス・LPガスシフトの推進が中心
- 合わせて、メタネーションや水素・アンモニアの活用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組む
- 電気分野では、再生可能エネルギー電源の開発がポイント



カーボンニュートラル

## (2) 2023年度中期経営計画のポイント



2050年カーボンニュートラル



2030ビジョン目標



### 2023年度中計

①都市ガス・LPG事業の「深化」

②イノベーションの「創出」

燃料転換を中心としたガス拡販

e-methane(合成メタン)等の活用

再生可能エネルギー電源の開発

価値創造に向けて成長原資を再分配

③経営基盤の「強化」

全体最適・DX

# (2) 2023年度中期経営計画のポイント

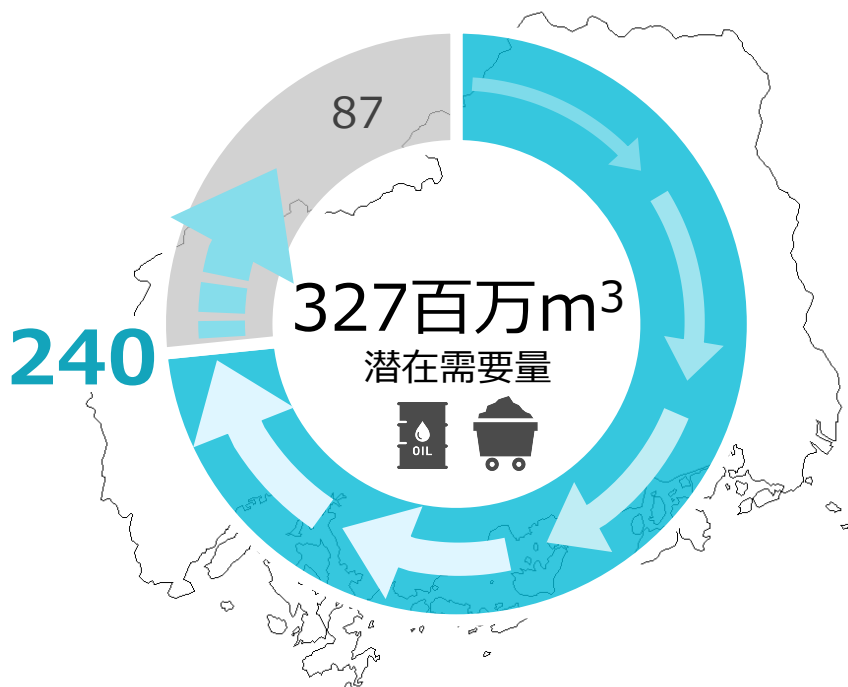


## ①都市ガス・LPG事業の「深化」(都市ガス)

- 石油・石炭等からの燃料転換にグループの力を結集し、計画中の潜在需要(大口)物件を獲得

### 潜在需要家獲得への目論見

- ✓ 既存製造設備の最大活用に向けた需要獲得(新規幹線延伸エリア・既存幹線活用エリア)

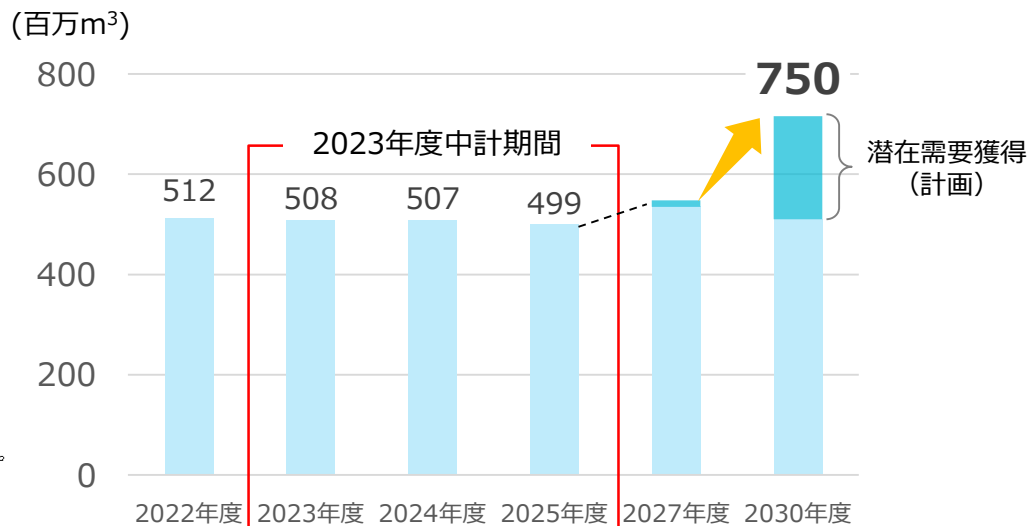


- ✓ 更なる潜在需要家の需要獲得に向けて取り組んでいく

### 2030年度

CO<sub>2</sub>削減効果 **37** 万t-CO<sub>2</sub>/年 (想定)

潜在需要量とインパクト **240** 百万m<sup>3</sup>



### 都市ガス 販売計画

※2022年度は実績、2030年度はビジョンの目指す姿  
※液売り・CNGを含む

# (2) 2023年度中期経営計画のポイント

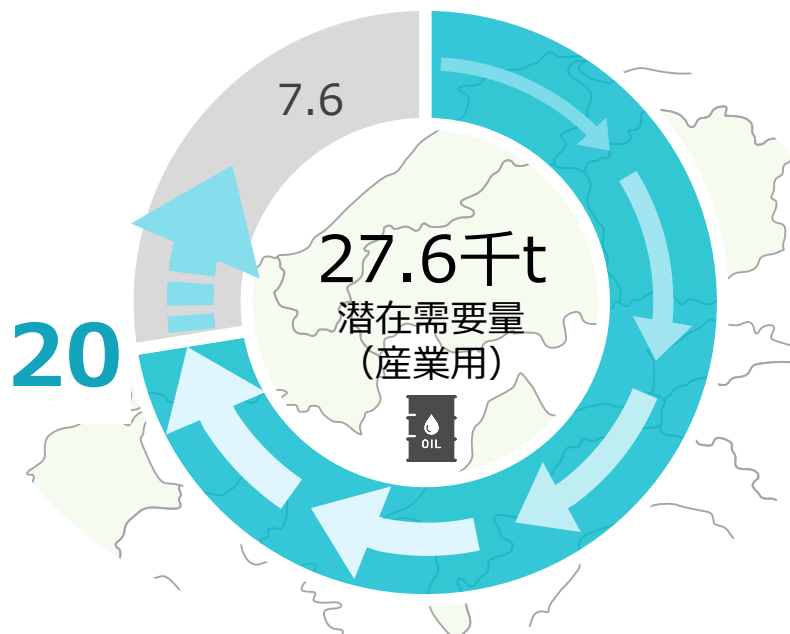


## ①都市ガス・LPG事業の「深化」(LPG)

### ■LPガス販売量の獲得(重油からの燃料転換など)

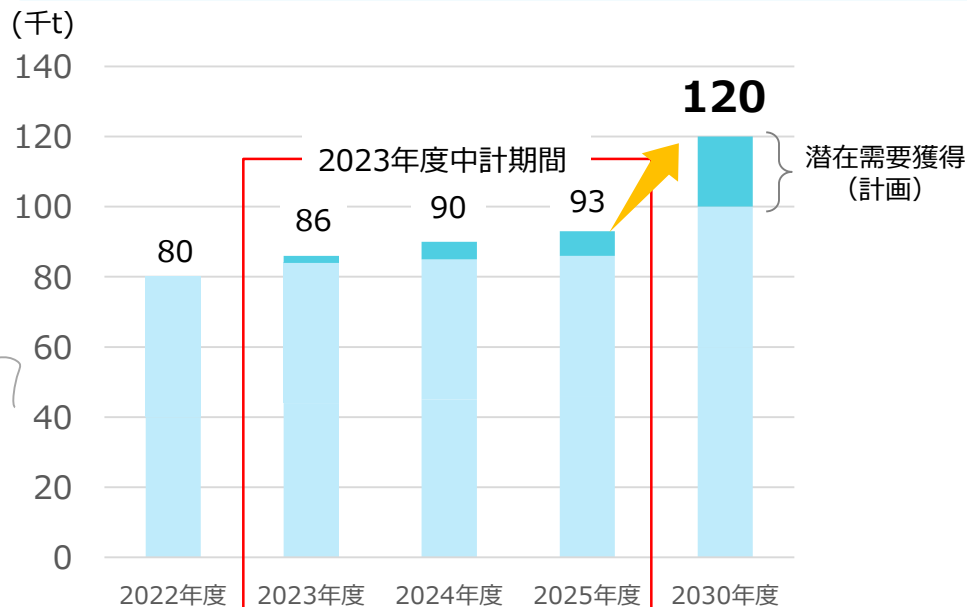
#### 主な取り組み

- ✓ 重点エリアでの広域営業を積極的に展開
- ✓ ワンストップ営業の推進



- ✓ 更なる潜在需要量の獲得に向けて取り組んでいく

2030年度  
CO2削減効果 **3,120** t-CO<sub>2</sub>/年 (想定)  
※20千tの40%を重油からの転換と想定  
潜在需要量とインパクト **20** 千t



#### LPガス 販売計画

※2022年度は実績、2030年度はビジョンの目指す姿



# (2) 2023年度中期経営計画のポイント



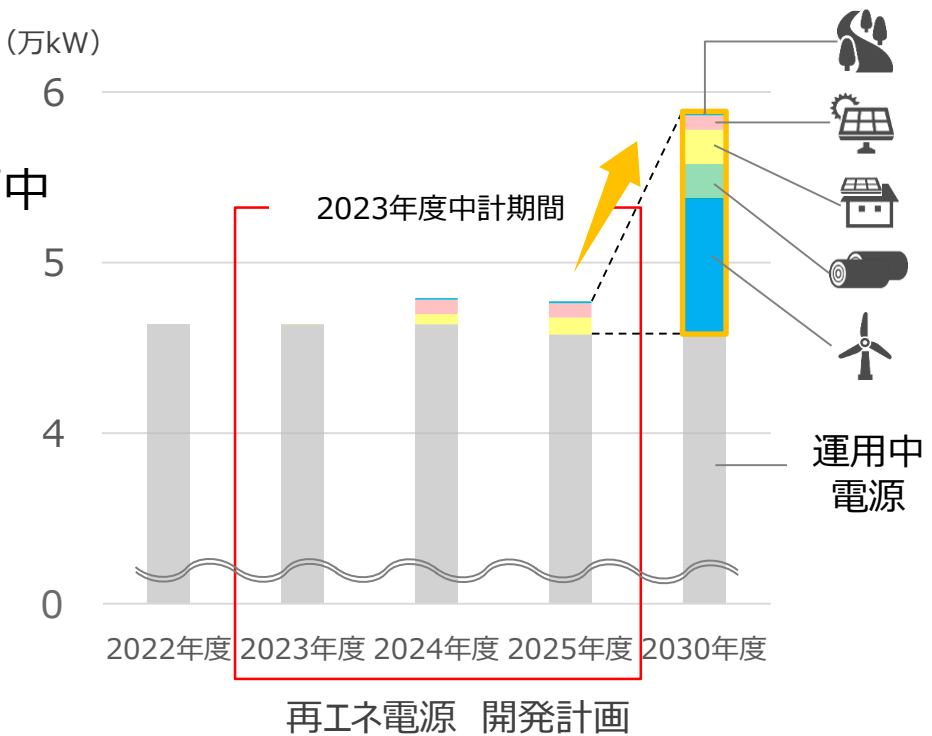
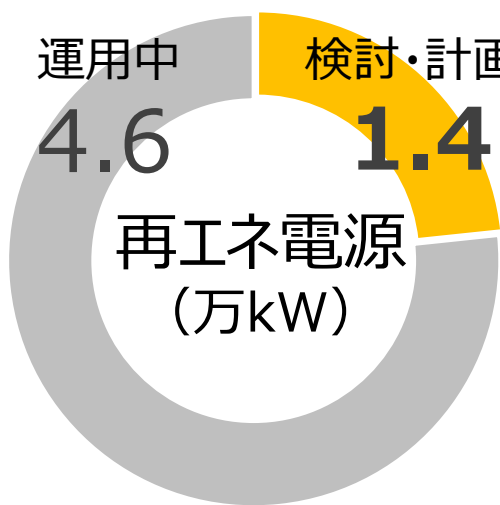
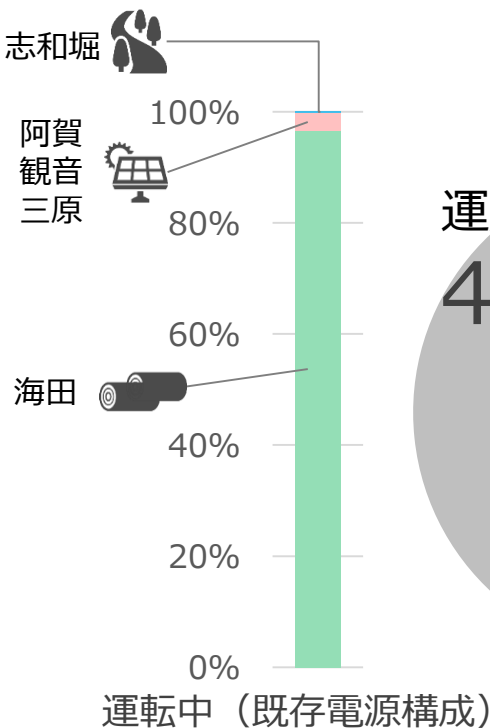
## ②イノベーションの「創出」

### ■再生可能エネルギー電源の開発に注力

#### 主な取り組み

- ✓ 獲得した事業用地を活用した再エネ電源開発

2030年度  
CO2削減効果 **25** 万t-CO<sub>2</sub>  
開発量 **6** 万kW



# (2) 2023年度中期経営計画のポイント



## ③経営基盤の「強化」

■人的資本の確保を目的とし、業務改革を実行

グループ組織機能  
全体最適化

- ✓ 営業業務関連
- ✓ 導管業務関連

×

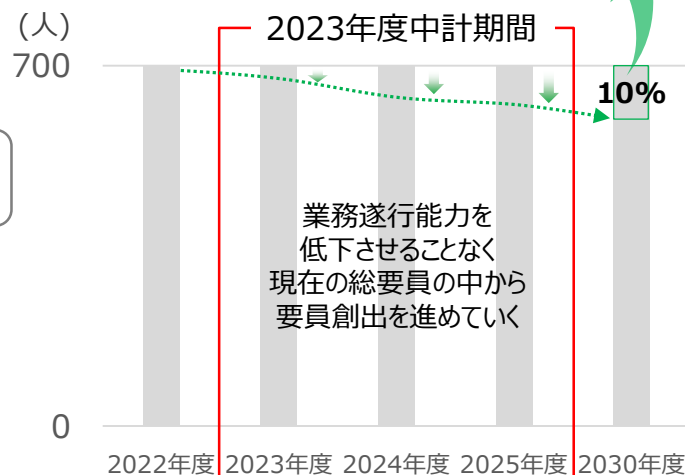
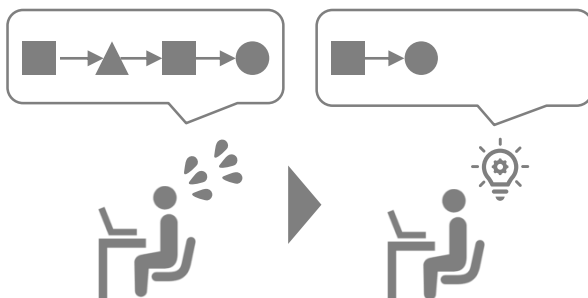
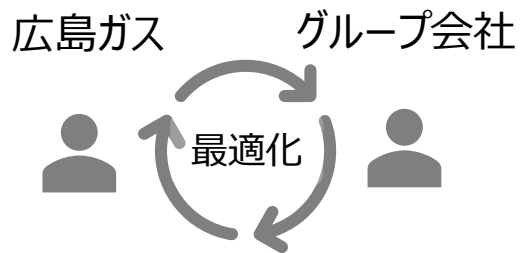
DXによる効率化

- ✓ 既存業務の高度化・効率化
- ✓ 3M (ムリ、ムダ、ムラ)の排除

=

要員創出  
広島ガスの**10%**程度

- ✓ 2050CNに向けて要員配置



広島ガス要員数 (イメージ)

役割と担う業務の最適化

グループ全体での効率化

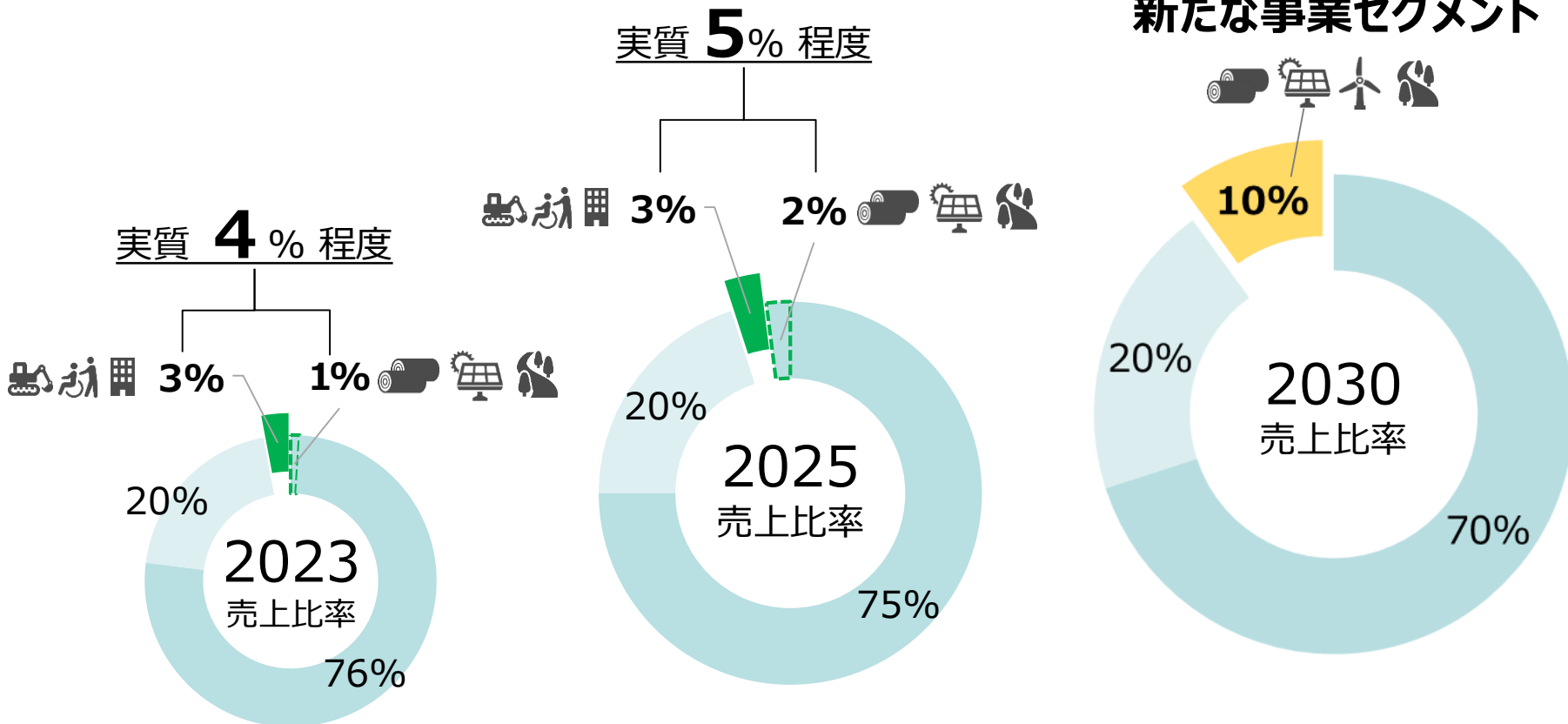
並行して、新たな価値創造のためのDXについて検討を進める 18

# (3) 事業ポートフォリオについて



■再エネ電源の開発に注力し、新たな事業セグメントとして確立を目指す

← 2023年度中計期間 →



凡例	: 都市ガス事業	: その他事業 (建設工事・介護・保険代理店)
	: LPG事業	: 再エネ等 (現状、都市ガス事業に含むもの)

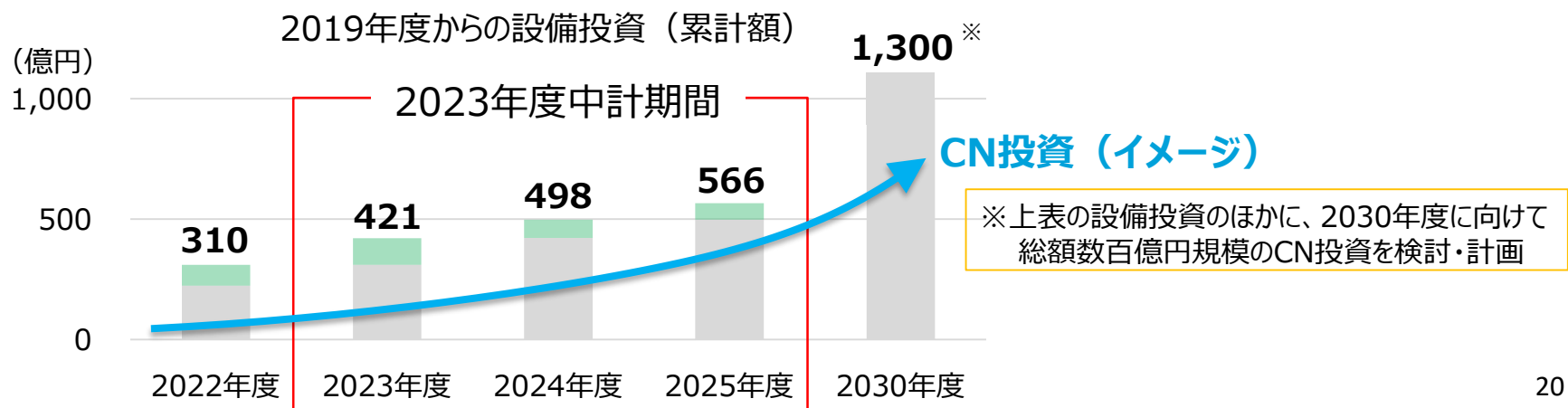
# (4) ガス需給・設備投資計画



需給計画		2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)
都市ガス (百万m <sup>3</sup> )	家庭用/ 業務工業用	424	420	408	414
	卸供給等*	88	88	99	85
LPG (千t)		80	86	90	93

※液売り・CNGを含む

広島ガスグループ設備投資	2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)
設備投資合計額 (内、CN投資)	86億円 (11億円)	111億円 (38億円)	76億円 (15億円)	68億円 (10億円)



### 3. トピックス

---

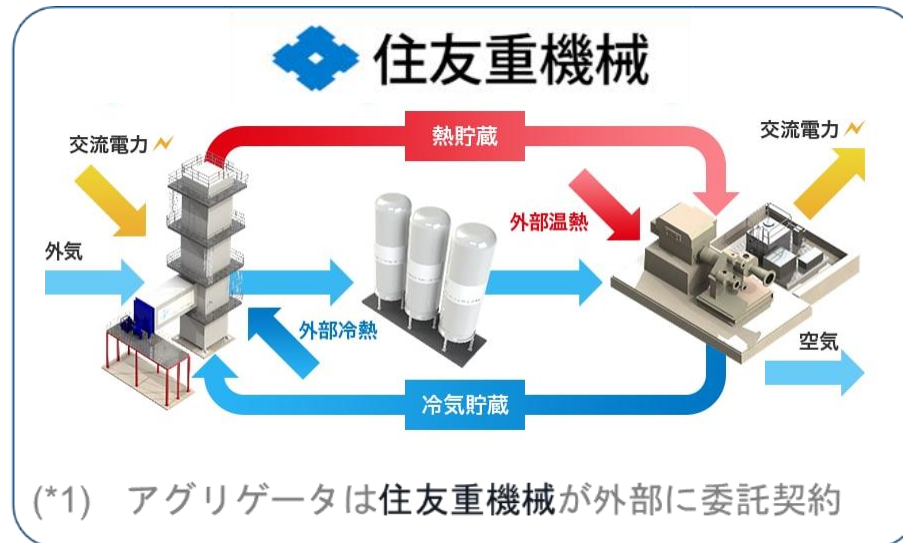


- (1) 住友重機械工業株式会社とLAES商用実証の  
共同実施**
- (2) 一般住宅への家庭用燃料電池エネファームの  
導入促進によるCO<sub>2</sub>削減事業**

## LAES商用実証の共同実施に関わる業務提携契約を締結

### 取り組みの目的

- 蓄電ビジネスの実証、ノウハウ取得
- LNG冷熱の有効活用による環境負荷低減
- LAES知見の集積の寄与による脱炭素社会実現への貢献



このまち思いエネルギー。  
**広島ガス**  
パートナー  
(LNG冷熱相互供給)



### LAES商用実証の概要

※LAES (Liquid Air Energy Storage)

液体空気の形で電力エネルギーを貯蔵し、必要な時に取り出す技術。

太陽光や風力等の再生可能エネルギーの余剰電力を活用して充電し、電力需要の高いタイミングに放電をすることで、脱炭素および電力需給の安定化に寄与。

## (2) 一般住宅への家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO<sub>2</sub>削減事業



### エネファーム(EF)の「優れた環境性の訴求」と「お客さまサービスの拡充」

#### 本事業の目的

- 環境性に優れたEFをご使用のお客さまへの新たなサービス
- 環境価値の見える化による環境意識の醸成、EFの拡販
- J-クレジットの創出および活用に関わるノウハウの蓄積



環境性に優れたエネファームをご使用いただくことで削減されたCO<sub>2</sub>をJ-クレジットに換価し、その対価としてお客さまに毎年「広ガスポイント」1,000ポイントを付与

※本事業は、国が運営する「J-クレジット制度」のプロジェクトとして登録されています。

※対象は2021年4月以降に新たに設置したアイシン製EFなど、諸条件があります。詳細は当社リリースをご参照ください。



本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



# (ご参考) 会社概要



- お客さま件数 41万7千件 (2023年3月31日現在)
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給
  
- 東京証券取引所プライム市場に上場(2022年4月4日)
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 68,373,036株 (2023年3月31日現在)



## 供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数  
**417千戸**



# (ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
売上高	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717	81,842	82,268	73,250	76,802	95,219
営業利益	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920	1,926	2,971	3,293	3,207	7,021
経常利益	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506	2,509	3,454	3,467	4,616	7,412
当期純利益(※1)	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499	1,971	2,153	5,272	3,662	5,216
減価償却費	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269	7,349	7,344	7,360	7,422	7,312
営業キャッシュフロー(※2)	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319	9,320	9,564	12,732	11,270	12,529
設備投資額	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401	7,377	6,735	7,147	8,512	8,618
フリーキャッシュフロー(※3)	-3,004	4	887	2,045	1,918	1,942	2,829	5,584	2,757	3,910
総資産	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717	104,935	107,139	115,477	123,802	141,996
自己資本(資本)	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332	48,019	49,274	56,769	61,867	64,539
有利子負債	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455	36,293	38,616	40,074	45,397	59,772
EBITDA	9,342	11,036	12,567	10,670	10,190	9,275	10,315	10,654	10,630	14,334
ROA(%) (※4)	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4	1.9	2.0	4.7	3.1	3.9
ROE(%) (※4)	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9	6.2	8.3
自己資本比率(%)	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1	45.8	46.0	49.2	50.0	45.5
EPS(円)	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8	29.1	31.8	77.5	53.7	76.4
BPS(円)	567.1	571.0	590.1	675.2	715.2	709.0	725.8	833.4	906.6	944.0
配当性向(%)	18.0	17.3	12.6	9.8	21.7	27.5	28.3	12.9	18.6	15.7
D/E レシオ	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9

※1 FY2015より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2016、FY2017、FY2019、FY2020、FY2021はキャッシュを伴わない特別損益を加減

〈FY2016〉債務免除益2,105百万円 〈FY2017〉退職給付制度改定益449百万円 〈FY2019〉投資有価証券評価損△66百万円

〈FY2020〉減損損失△98百万円 〈FY2021〉減損損失△86百万円、投資有価証券評価損△98百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

# (ご参考)販売量データ



## 【ご参考】主要経営指標(過去10年)

		FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
家庭用	販売量(百万m3)	103	103	100	99	104	98	97	103	103	95
	対前年比(%)	-2.2	0.7	-3.5	-0.9	4.8	-5.2	-1.5	6.9	-0.4	-7.6
商業用	販売量(百万m3)	47	45	43	44	45	43	43	35	35	37
	対前年比(%)	-1.1	-4.9	-3.3	1.9	2.5	-4.0	-1.3	-18.3	0.9	3.6
工業用	販売量(百万m3)	258	242	242	255	271	326	313	304	298	255
	対前年比(%)	-1.3	-6.4	-0.0	5.4	6.3	20.3	-3.9	-3.0	-1.8	-14.5
その他用	販売量(百万m3)	38	37	36	38	38	36	35	35	35	35
	対前年比(%)	2.7	-4.2	-2.7	5.8	1.5	-5.6	-3.7	1.5	-0.7	0.7
卸供給	販売量(百万m3)	61	62	60	56	58	77	106	90	92	76
	対前年比(%)	1.9	2.7	-3.9	-5.9	3.6	30.9	38.1	-15.3	2.3	-17.5
合計	販売量(百万m3)	509	491	483	494	519	583	596	569	566	500
	対前年比(%)	-0.8	-3.5	-1.8	2.4	5.0	12.3	2.3	-4.4	-0.6	-11.7